

新型コロナウイルス対策補正予算 50億3800万円

全市民に一人当たり10万円を給付するなどの新型コロナウイルス対策の補正予算50億3800万円が5月1日、専決処分されました。

補正予算では、全市民に一人当たり10万円が給付され、児童手当（中学卒業までの子どもに支給）受給世帯に国の臨時特別給付金1万円に児童一人当たり5000円を市が、上乗せ支給します。

児童手当の対象とならない高校生に15000円、特定扶養親族年齢以上（18歳以上22歳以下）の学生に一人30000円を市が支給します。



一人10万円の特別給付金の申請できます

一人10万円の特別給付金の申請書の郵送は、5月末ごろから開始される予定ですが、マイナンバーカードを使ってのオンライン申請は現在でもできますが、マイナンバーカードを持っていない人で申請を急ぐ人は、テラス沼田4階のホールで申請（書類での申請）を受け付けています。



申請書は会場にも用意されていますが、本人確認ができる運転免許証などと銀行の通帳のコピーなどを持参してください。

減収額が30%以上50%未満の法人、個人事業者に10万円を支給

国の持続化給付金は、前年度の同月比の売上げが50%以上減少した中小法人や個人事業者に法人で最大200万円、個人事業者に最大で100万円給付されますが、これでは売上げが50%以下の減少では支援がないため沼田市では30%以上50%未満の減収の法人などに10万円が支給されます。

中小企業経営振興資金融資の申請をおこなう時、新型コロナの影響で市税の完納が見込めなくなった場合、市税担当課と協議のうえ、緩和措置が受けられる場合があります。

力をわせ憲法を守りましょう街頭から訴え

5月の3日の憲法記念日に「戦争させない利根沼田実行委員会」は、裁判所前で街頭宣伝をおこない、「力をわせ憲法を守りましょう」と訴えました。



大東議員も利南支部の人たちと5ヶ所で、「憲法をいかしたコロナ対策をすすめさせましょう」と訴えました。

2020年5月17日

NO. 652

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料



検察庁法改定案は、黒川東京高検検事長の定年を延長し、政府が検察事に恒常的に介入できる仕組みを制度化するものにほかなりません。

国会で審議入りした検察庁法改定案は、検察の幹部人事に政府が干渉・介入できるようにするもので、ツイッター上の「#検察庁法改定案に抗議します」の投稿は数百万件に上り、著名な俳優や歌手、演出家なども抗議の意思を表明しています。

こんには 安倍首相が国会での審議入りを強行した検察庁法改定案は、高検検事や地検検事正など役職者の勤務延長を認め、その判断を内閣や法務大臣に委ねるもので、検察官に求められる政治的中立性や独立性を脅かす重大問題です。

現行の検察庁法は、検察官の定年年齢を定め、その延長は認めておらず、首相をも逮捕できる強力な権限を持つ検察官には、政府が人事への恣意的干渉をできないようにしています。

こんには 大東のぶゆき です

続ぶらり散歩 めまた道 利根町あれこれ 特別編その六十二

根利川

根利川は、根利の宇津野橋の近くで倉見川と新地川が合流し根利川となり、赤城根橋の近くで片品川に合流します。



根利から南郷の片品川との合流点まで、県道大間々線と並行して流れ、根利から小松、柿平までの間は、深い谷を流れ、春の新緑、秋の紅葉を楽しむことができ、釣りを楽しむ人が訪れます。

昭和22年（1947）9月のカスリン台風では、山崩れとともに土砂が根利川に流れ込み、根利、南郷などでは家屋が流され、根利では12人が犠牲になりました。

根利川に流れ込む沢には、ハコネサンショウウオが生息していると言われ、かつては薬として使うため焼いたものを干して、東京に出荷していたそうです。

根利の水神様

水神様は、倉見川のそばにあり、むかし川が氾濫したことから祀られたようです。



戦後から春と秋にお祭りがおこなわれ、石宮の前に果物やお賽銭をそなえていました。

お供え物を子どもたちが、持ち帰ってもよかったそうです。